

教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成24年度事業分)

平成25年9月

葛城市教育委員会

目 次

	はじめに.....	1
1.	教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について.....	2
2.	教育に関する事務の点検及び評価について.....	2
3.	教育委員会点検及び評価に関する有識者の概要.....	4
4.	教育委員会の運営及び活動状況.....	5
5.	葛城市総合計画に基づく政策体系について.....	9
6.	教育委員会事業評価シート.....	1 1
7.	点検及び評価のまとめ.....	6 3

はじめに

教育委員会は首長から独立した合議制の組織であり、同委員会が自ら立てた教育行政の基本方針に基づき、教育に係る広範かつ専門的な事務を確実に実施することが求められます。

平成20年4月より施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正で、各教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本市教育委員会におきましても、前年度評価の実施後、本年度の評価について改めて評価対象や評価方法に係る議論を重ね、その上で担当課ごとに自己評価に取り組みました。5月には、法に定められた「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」ために設置された「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」により、各事業実務担当者に対するヒアリングを実施し、各事業についてご意見をいただきました。

有識者のご意見を受けて再度担当課ごとに来年度以降の事業方針を決定し、最後に教育委員より評価の総評をいただきました。

この報告書は、以上の成果を「教育に関する事務の点検及び評価報告書」としてまとめたものです。

1. 教育に関する事務の点検及び評価の実施方針について

(1) 趣旨

葛城市教育委員会は、毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 実施方法

- 1) 葛城市教育委員会の主要施策を対象として点検及び評価を行う。
- 2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向を示すものとし、毎年1回実施する。
- 3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、有識者の意見を聴取した上で、教育委員会において点検及び評価を行う。
- 4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」を置く。
(「葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者」は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。)
- 5) 教育委員会において点検及び評価を行った後、その結果をとりまとめた報告書を市議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

2. 教育に関する事務の点検及び評価について

(1) 評価の対象

評価の対象は前年度の施策・事業（今回は平成24年度事務執行分）とし、葛城市教育委員会所管の学校教育・社会教育それぞれの分野の施策に関して、評価を実施しました。

(2) 今年度の点検及び評価の流れ

まず、主要事業ごとに教育委員会事務局自らがそれぞれの事業のコスト及び成果等について自己評価を行いました（教育委員会事業評価シート（計画）・（実施内容）・（評価）各欄）。その後、事務局評価の客観性を確保するため、作成した評価シート及び各課への有識者ヒアリングをもとに、有識者より様々なご意見をいただきました（教育委員会事業評価シート（有識者意見）欄）。事務局はそれらのご意見を受けて、来年度以降の事業方針を決定しました（教育委員会事業評価シート（方向性）各欄）。

最後に、これらすべてについて教育委員よりご意見をいただきました（点検及び評価のまとめ）。

(3) 点検・評価の経緯

①平成24年度 3月定例教育委員会会議（平成25年3月19日開催）

教育に関する事務の点検及び評価の公表・年度計画について協議決定するとともに、事務の点検及び評価を行う様式及び評価事業の決定を行いました。

②教育に関する事務の点検及び評価 有識者ヒアリング

（平成25年5月31日開催）

事業評価について、各事務担当より意見聴取を行いました。

③平成25年度 6月定例教育委員会会議（平成25年6月27日）

教育に関する事務の点検及び事業評価について協議しました。

④平成25年度 7月定例教育委員会会議（平成25年7月23日開催）

教育に関する事務の点検及び事業評価について協議しました。

⑤平成25年度 8月定例教育委員会会議（平成25年8月16日開催）

教育に関する事務の点検及び評価報告書を決定しました。

⑥「教育に関する事務の点検及び評価報告書」を葛城市議会議長に提出します。

（平成25年9月提出予定）

(4) 各事業の方向性

平成24年度主要施策における来年度以降の方向性について、集計結果は以下のとおりです。

事業の方向性	件数
さらに重点化する	6件
現状のまま継続する	12件
見直しのうえ継続する	7件
事業の縮小を検討する	0件
休止、廃止を検討する	0件
終了・完了	0件

(主要施策ごとの評価は、P13～P62に掲載)

3. 教育委員会点検・評価に関する有識者の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条に基づき、葛城市教育委員会が行った事務の管理及び執行の状況についての自己点検及び評価に対する意見をいただくため、平成24年4月1日(任期3年)に、葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者を委嘱しました。

有識者は、次の方に委嘱しました。

仲田博則(葛城市固定資産評価審査委員)

岡島久子(元小学校校長、葛城市学校評議委員)

(主要施策ごとの意見は、P13～P62に掲載)

4. 教育委員会の運営及び活動状況

(1) 教育委員会委員について

教育委員会委員は下表のとおりです。(平成25年 6月27日 現在)

職名	氏名	備考
委員長	川村 泰男	
委員長職務代理者	堀内 忠樹	
委員	和田 治	
委員	米田 知昭	
教育長	大西 正親	

(2) 教育委員会議及び審議状況について

平成24年度は合計で13回の委員会を開催し、審議事項23件、協議報告事項37件について審議・協議を行いました。内容は、下表のとおりです。

開催日	審議事項	協議報告事項
4月24日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会後援名義の使用について 葛城市教育委員会点検・評価に関する有識者の委嘱について 平成24年度学校教育課程について
5月8日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度学校教育課程について 平成24年度特別支援学級教育課程について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
6月12日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度学校評議委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について

開催日	審議事項	協議報告事項
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市公民館運営審議会委員の委嘱について 葛城市教育委員会作文募集について 新着任者研修会の日程について 平成24年度教育に関する事務の点検及び評価の状況について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
8月21日	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計補正予算に対する意見聴取について 学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度教育に関する事務の点検及び評価について 葛城市教育委員会後援名義の使用について
9月16日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会日々雇用職員雇用要綱の一部を改正する要綱について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会後援名義の使用について
10月16日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会後援名義の使用について
11月21日	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例にかかる意見照会について 一般会計補正予算に対する意見聴取について 学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について 葛城市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 議会選出各種委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について 成人式について
12月25日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市教育委員会委員長の選挙について 葛城市教育委員会委員長職務代理者の指定について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市学校給食運営委員会委員の推薦について 教職員人事ヒアリングの日程について 葛城市教育委員会作文の選考について 葛城市教育委員会後援名義の使用について

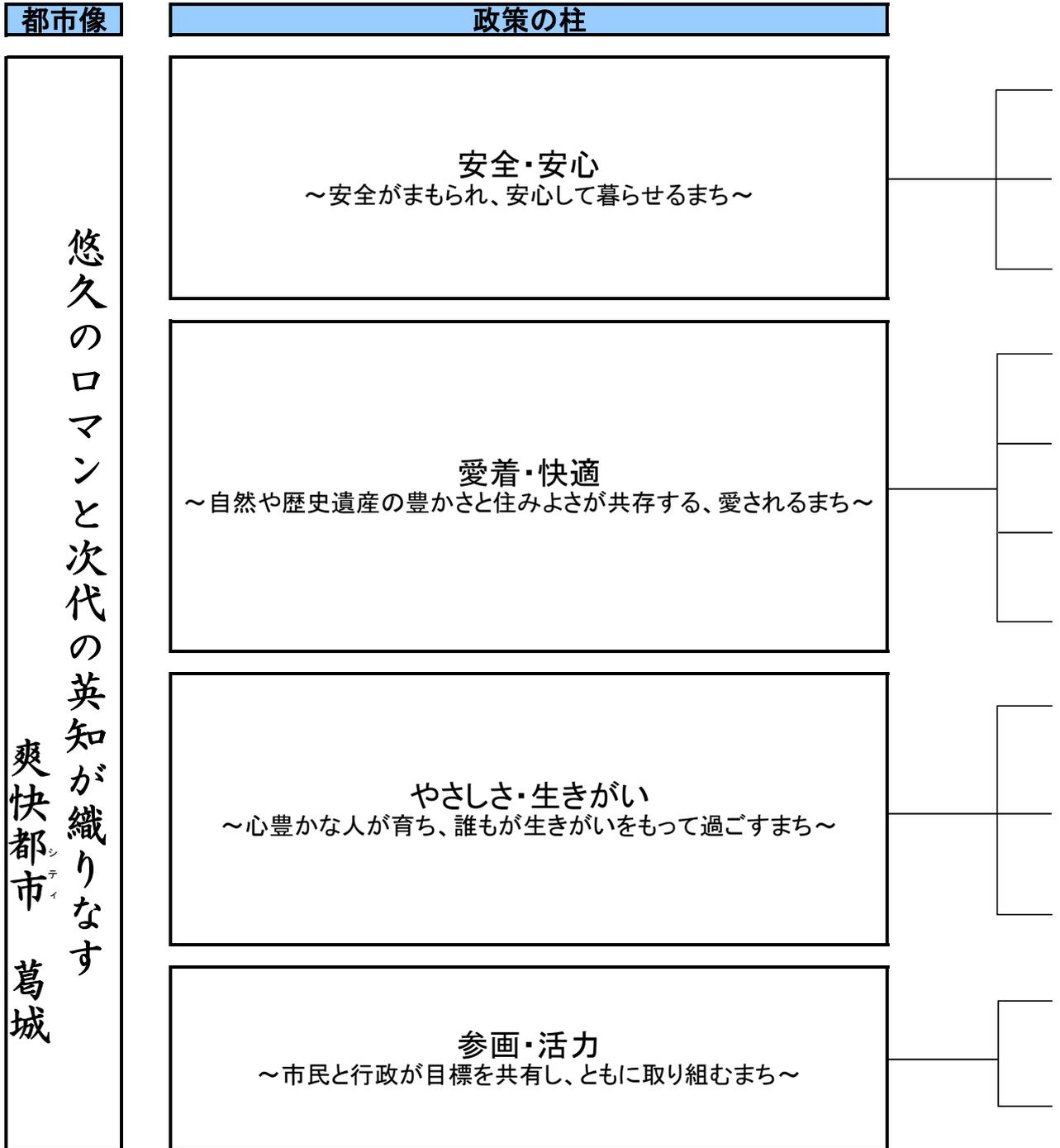
開催日	審議事項	協議報告事項
1月22日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市公民館運営審議会委員の委嘱について 葛城市文化会館協議会委員の委嘱について 葛城市学校給食運営委員会委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について 葛城市教育委員会作文の選定について
2月19日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市社会教育委員の委嘱基準の制定について 葛城市公民館運営審議会委員の委嘱基準の制定について 葛城市文化会館協議会委員の委嘱基準の制定について 葛城市歴史博物館協議会委員の委嘱基準の制定について 葛城市文化財保護審議会委員の委嘱について 平成24年度一般会計補正予算に対する意見聴取について 平成25年度一般会計予算に対する意見聴取について 平成24年度学校給食特別会計補正予算に対する意見聴取について 平成25年度学校給食特別会計予算に対する意見聴取について 	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市歴史博物館協議会委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について 教育方針について 市内小・中学校の卒業式・入学式について
3月19日	<ul style="list-style-type: none"> 葛城市学校医の委嘱について 葛城市社会教育委員の委嘱について 	<ul style="list-style-type: none"> 区長会選出各種委員の委嘱について 葛城市教育委員会後援名義の使用について 平成25年度教育に関する事務の点検及び評価 評価対象事業の選出について
3月29日	なし	<ul style="list-style-type: none"> 人事について

(3) 教育委員会会議以外の活動について

市内外の各種行事や研修等に参加しました。主な内容は、以下のとおりです。

- ・各幼稚園、小・中学校入学式（4月9日～11日）
- ・奈良県市町村教育委員会連合会会議（5月9日）
- ・市町村教育委員会教育委員長・教育長会（6月1日）
- ・葛城市立学校新着任者研修会（8月17日）
- ・市民体育祭（9月16日）
- ・各幼稚園、小・中学校運動会（9月22日～10月2日）
- ・平成24年度近畿市町村教育委員研修大会（10月17日）
- ・各小・中学校訪問（11月6日～11月26日）
- ・各幼稚園訪問（11月12日～11月21日）
- ・葛城市駅伝・マラソン大会（1月13日）
- ・成人式（1月14日）
- ・教職員人事ヒアリング（1月24日）
- ・生涯学習まちづくり推進大会（2月17日）
- ・各幼稚園、小・中学校卒業式（3月15日～19日）

5. 葛城市総合計画に基づく政策体系について
葛城市総合計画については以下のとおりです。



政策目標	施策目標
犯罪・災害に対する安全性の向上	犯罪から市民をまもり安全性を高める 自然災害や火災等に対する安心感を高める
事故や病気に対する安心感の向上	安心して救急医療サービスが受けられるようにする 交通事故を減らし、安全に対する意識を高める
社会生活の安全性の向上	食に対する安心感を高める 消費生活や個人情報の安全をまもる
良好な自然・地域環境のブランド化	良好な自然と地域環境を保全し、活用する 循環型社会への取組を高めるとともにモラルを向上させる
歴史・文化の保全・継承と交流の促進	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす 伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す
日常生活の利便性・快適性の向上	駅前整備や道路など日常生活の利便性を高める 憩いや散策の場が身近にあり、快適性を高める
地域産業の振興と担い手の育成	農業をはじめ第1次産業の担い手を育てる 特産品や技術を生み出し、地域産業を活性化する
子育てと生きがいの両立	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする 子育てと仕事が両立できるようにする
学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる 必要な知識や能力を身につけられるようにする 芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする
いきいきとした生活と社会参加の促進	病気にかからず、介護を必要としないよう、心身の健康を保つ 高齢者や障害者の方が安心して生活できるようにする
市民参画による協働のまちづくりの推進	地域コミュニティ・団体を育てる 市民や事業者の考えや提案をまちづくりに活かす
効果的な行財政運営	経費の削減と独自財源の確保による財政基盤を強化する 職員の能力を高め、アイデアを政策に反映させる 目標に応じた効果的なサービス等の提供を行う

※網掛け部は今回の教育委員会評価対象事業において目標とされている施策です。

6. 教育委員会事業評価シート

【平成24年度主要事業に対する教育委員会評価シート】

事業 No. 1	小・中学校地震補強・大規模改造工事.....	13
事業 No. 2	相談（来室・訪問）事業・研修支援.....	15
事業 No. 3	適応指導教室.....	17
事業 No. 4	スクールカウンセラー（SC）.....	19
事業 No. 5	学校給食事業.....	21
事業 No. 6	図書館主催講座等事業.....	23
事業 No. 7	葛城歌壇短歌募集事業.....	25
事業 No. 8	ブックスタート事業.....	27
事業 No. 9	成人式式典事業.....	29
事業 No. 10	生涯学習人材バンク事業.....	31
事業 No. 11	青少年健全育成事業.....	33
事業 No. 12	学校・地域連携事業.....	35
事業 No. 13	生涯学習まちづくり推進大会.....	37
事業 No. 14	子ども・若者育成支援事業.....	39
事業 No. 15	公園まつり実行委員会業務.....	41
事業 No. 16	地区館教室・講座事業.....	43
事業 No. 17	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業.....	45
事業 No. 18	文化振興事業.....	47
事業 No. 19	展示（常設展・特別展等）事業.....	49
事業 No. 20	歴史講座開催事業.....	51
事業 No. 21	埋蔵文化財等調査事業.....	53
事業 No. 22	文化財保存事業.....	55
事業 No. 23	各種教室開催事業.....	57
事業 No. 24	各種スポーツ大会等開催事業.....	59
事業 No. 25	体育施設の運営事業.....	61

教育委員会事業評価シート

	事業No.	1
事務事業名	小・中学校地震補強・大規模改造工事	担当課名 教育総務課
係 名	施設係	施 設 名 新庄小学校、磐城小学校

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	犯罪・災害に対する安全性の向上		
	施策目標	自然災害や火災等に対する安心感を高める		
事業の目的	教育施設の耐震性を高め、児童・生徒の安全を確保する。			
事業の内容	<p>新市建設計画に基づく小・中学校地震補強・大規模改造工事を、平成24年度は新庄小学校及び磐城小学校について実施した。</p> <p>新庄小学校工事はRC造・2階建・延べ面積814㎡の校舎について、RC耐震壁及び鉄骨ブレースそれぞれ1箇所増設による地震補強工事を、また同校舎およびRC造・2階建・延べ面積983㎡の校舎について、防水改修、外壁改修、内装改修、間仕切改修等の大規模改造工事を施工した。</p> <p>また、磐城小学校工事は、RC造・2階建・延べ面積1,084㎡の屋内運動場について、RC地中梁8箇所、RC柱17箇所の増打による地震補強工事と、防水改修、外壁改修、内装改修、建具改修等の大規模改造工事を施工した。</p>			
事業対象	小学校の校舎および屋内体育館			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 24年度 ～ 平成 24年度 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業費 ①		258,731	312,535	368,570	
	内一般財源		162,994	198,013	244,672	
	内国・県補助金		95,737	114,522	123,898	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		7,842	7,961	7,961	
	総コスト①+②		266,573	320,496	376,531	
実績と成果	区 分		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業実績	耐震改修棟	棟	2	2	2
	事業成果	耐震化率	%	91.5	95.7	100.0

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>新市建設計画に基づき、毎年度2校ずつ耐震工事を実施している。本工事の施工により校舎、屋内運動場の安全性がより向上し、児童が安心して学業に取り組める環境づくりに貢献できた。</p> <p>また、小中学校施設の耐震化率は、今回の事業実施により平成24年4月時点の91.5%から平成24年度末には95.7%に上昇した。このことは葛城市ホームページで「学校等施設の耐震状況」として公表予定である。</p>			
事業の課題・問題点	<p>耐震診断で特に危険度が高い数値が出た校舎については平成22年度末にすべての耐震改修が終了しているが、引き続きその他の校舎等についても耐震改修を実施し、耐震化率100%を目指す。</p> <p>また、耐震改修工事以外にも、各種建築物や設備等について点検管理を徹底し、安全で安心できる学校環境づくりに努めてゆく必要がある。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>耐震補強工事が計画的かつ順調に実施され、平成24年度末には耐震化率も上昇し、児童生徒・保護者・教員が安心して学べる環境が整備されたことは喜ばしい。</p> <p>今後も耐震化率100%を目指し継続していただきたい。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえた 担当課意見 ・数値目標 等)</small>	<p>耐震診断によって地震補強が必要とされた校舎等は忍海小学校校舎及び白鳳中学校屋内運動場を残すのみであるが、この2校についても平成25年度に地震補強工事を行う予定であり、平成25年度中には耐震化率100%となる見込みである。また、地震補強工事と同時に大規模改造工事を実施することで限りある予算内で効率的に実施できると考えている。</p> <p>その他の各種建築物・設備についても徹底した点検管理を継続し、安全確保に努めることで安心して学べる学校環境を整えていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	2
事務事業名	相談（来室・訪問）事業・研修支援	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施 設 名	教育相談室

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	子育て・教育についての相談に応じ、その諸問題の改善を図る			
事業の内容	不登校をはじめ学校生活上の諸問題について保護者や教員（ときには児童・生徒）の相談に応じ、その改善に向けて指導助言を行う。また、園児・児童・生徒の発達や成長についての相談に応じ、保護者へのカウンセリングや教員へのコンサルテーションを行う。			
事業対象	市内の幼稚園・小・中学校の園児・児童・生徒とその保護者、市立園・校の教員			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算
		事業費 ①	内一般財源	0	0	0
事業コスト (単位：千円)	内国・県補助金	内一般財源	0	0	0	
		内国・県補助金	0	0	0	
		内受益者負担	0	0	0	
		人件費② ※ () 内は人件費のうちの補助金額	8,158	8,232(1,314)	8,761(1,823)	
	総コスト①+②	8,158	8,232	8,761		
実績と成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業実績	電話・来室相談 (件数)	回	172(56)	364(76)	300 (70)
		巡回相談	件	252	303	320
	事業成果	問題行動回避・防止	%	52	41	40
		問題状況改善・解決	%	48	59	60

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B		A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要	
評価の説明	<p>就学前・義務教育期から子どもや保護者に寄り添い、悩みや不安を受けとめ適切な示唆を与えることが、不登校や問題行動等を回避するうえで大きな意味をもつ。また、障害受容を早い時期から適切に促し支援することにより、保護者や教員に対するきめ細やかな教育が展開でき、幼児・児童の成長・発達を保障することができる。</p> <p>保護者や教員のニーズが高く、相談・観察・検査等に相当の時間を要するため、平成21年度より巡回回数を増加させた効果が表れ、相談待ちが解消され、相談件数・回数共に増加しつつある。</p> <p>平成24年度も、前年度に引き続き市内在住で軽度発達障害が認められる児童の療育キャンプを実施した。参加は児童4名、保護者4名、指導者4名、支援員7名で、国立曽爾青少年自然の家に1泊2日で出かけた。児童は2日間で自分らしさを発揮して情緒・行動の安定が、保護者は「待つ」姿勢や子どものよさを認める姿勢が培われるとともに、互いの連帯感が生まれた。さらに、キャンプ後、参加した保護者からキャンプに参加した指導員(スクールカウンセラー)に教育相談の依頼が寄せられキャンプの効果が表れている。</p> <p>事業成果の問題行動・状況を回避・防止・改善・解決できた割合は、一定の成果であると考える。</p>			
事業の課題・問題点	現在の教育相談室は適応指導教室と同じ建物内にあり、教室に通う児童・生徒を気にしながら電話相談や来室相談に応じている。プライバシー保護の観点から、施設の改修を図る必要がある。			

(有識者意見)

有識者意見	<p>巡回相談の回数を増やしたことで、相談待ちが解消され、保護者の相談に対応できる体制が整ったことは何よりである。成果を挙げている事業で今後も更にニーズに応じて欲しい。</p> <p>近年増加傾向にある発達障害の児童生徒を抱える保護者にとって、相談できる機関は限られており、教育相談室の役割は重い。巡回相談、療育キャンプ等の一層の充実を期待する。</p> <p>電話相談や来室相談のプライバシー保護のためにも施設の改修をお願いしたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>巡回相談員が保護者や幼稚園・学校の教職員に適切な支援を行うことで、アセスメントの結果を幼児・児童の成長・発達に活かしていけるよう、量・質ともに成果を上げていく。</p> <p>療育キャンプは今後も工夫を重ねながら継続実施していく。</p> <p>来室・電話相談では相談者のプライバシーを守秘できるよう、電話相談では個人が特定されにくい応答を工夫したり、来室相談では當麻保健センターの一室を活用したりするなどの工夫を図りたい。さらに、施設改修を模索するだけでなく、他施設の活用も視野に入れながら検討してまいりたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	3
事務事業名	適応指導教室	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施設名	教育相談室

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	不登校児童・生徒1人1人に即した支援を行い、学校復帰を目指すとともに、学校不適応が社会不適応につながらないようにする。			
事業の内容	不登校児童・生徒を対象に個別カウンセリングや個別教科学習、集団活動、スポーツ活動等を行い、学力の保障を図るとともに、児童・生徒の自立心や社会性、協調性を育て、のびのびとした発達・成長を促す。			
事業対象	市内の小・中学生			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業費 ①		109	144	189	
	内一般財源		0	0	0	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		6,528	5,681	6,410	
総コスト①+②		6,637	5,825	6,599		
実績と成果	区 分		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業実績	入室人数	人	9(5)	12(5)	15(4)
		※入室人数については、在籍者数(その年度の入室者数)				
		学校復帰数	人	2	3	3
	事業成果	高校等進学率	%	100	100	100
		出席率	%	中50	中57	小60、中60

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>平成24年度通室者数は、新庄中学校区(中学生7名、小学生なし)、白鳳中学校区(中学生5名、小学生なし)だった。平成23年度は、新庄地区児童・生徒数と當麻地区児童・生徒数がほぼ半々であったが、平成24年度は新庄中学校区より5名の入室があり、新庄校区の人数が多くなった。ただ、教室生が中学生のみという実態があり、小学校で不登校の状態にいる児童への働きかけが必要である。</p> <p>出席率は57%程度であるが、学校復帰をした場合はこの出席率が低下するわけで、出席率の読み方そのものを慎重に行う必要がある。適応指導教室に通いながら学校復帰する生徒も出る可能性があるため、出席率60%前後は妥当なところと考えられる。</p> <p>昨年度に引き続き、社会見学や体験学習を実施した(海遊館への校外学習、国立少年自然の家1泊2日)。見学地での新鮮な驚きや感動、集団行動の大切さの自覚等々貴重な学習の機会であると認められる。</p> <p>平成23年度より、2ヶ月ごとに各小・中学校より不登校傾向が認められる児童・生徒の記録を提出願ひ、それを通して各学校に不登校防止の自覚を促し、早期発見・早期対応を図るようにしている。調査によって教育相談室・適応指導教室や学校の取組を客観的に分析検討する機会としている。学校が不登校をできる限り防止すること、自らの取組の適否を客観的に検討する機会となると同時に、教育相談室・適応指導教室との連携が深まっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>中学生の不登校は、小学校時代にその萌芽が認められる場合が少なくない。前述した2ヶ月ごとの不登校傾向児童生徒の調査の分析をはじめとして、適応指導教室として何ができるかを今後検討し、気になる事例に関して学校との連絡調整を図っているが、今後さらなる取組の充実を図る必要がある。</p> <p>その取組の端緒として、平成25年度から市校長会の組織の一つである教育相談部会の活性化を図りたい。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>不登校児童生徒の解消のためには、小学校の段階での早い手立てが重要であると考えられる。学校との連携を深め、不登校防止への取組みが今後も継続して効果を挙げることを期待する。</p> <p>不登校の早期発見のためにも、平成25年度から活用されるという教育相談部会や学校・保護者との緊密な連携が課題だと考えられる。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえた 担当課意見 ・数値目標 等)	<p>学校との連携を深める手立てとして市教育相談部会の活性化を図るとともに、市スクールカウンセラーを教育相談部会のスーパーバイザーとして位置づけ、小学校段階からの不登校への対応を検討していきたい。市教育相談部会の構成員である各校の教育相談部会の代表者が、各校の教育相談体制を強化していく核としての役割を果たすことが出来るように取り組んでいきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	4
事務事業名	スクールカウンセラー（SC）	担当課名	学校教育課
係 名	教育相談室	施設名	新庄中学校 白鳳中学校

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	学校不適応をはじめ学校生活上の諸問題で悩む児童・生徒に対するカウンセリングを行うことで、諸問題の改善を図る。			
事業の内容	不登校や学校生活の諸問題で悩む児童・生徒・保護者の求めに応じてカウンセリングを行う。また、学級担任や相談担当教員へのコンサルテーション及び職員研修の指導助言を行う。 適応指導教室に入室する児童・生徒のカウンセリングを行い、進路を決定する。			
事業対象	市内小・中学校児童・生徒とその保護者、教員			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単位	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			2,360
内一般財源				2,360	2,360	2,065
内国・県補助金				0	0	0
内受益者負担				0	0	0
人件費 ②				0	0	0
総コスト①+②				2,360	2,360	2,065
実績と 成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業 実績	相談回数	回	304	271	280
	事業 成果	適応指導教室入室者数	人	5	5	4
		情緒や家庭環境の安定	人	7	17	17

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	かつて課題となった多様かつ増加傾向にある相談要請への対応については、スクールカウンセラー(以下、SC)に相談の一切を委ねるのではなく、SCの初期相談の後は教育相談室長が継続相談を引き受けて実施した。また、より専門的な関係機関(医療・サポートルーム等)につなぎ、課題の改善・解決に努めている。 平成24年度の相談回数271回のうち、教職員のコンサルテーションが127回あり、不登校傾向をもつ児童・生徒に対する現場の指導に生かされている。			
事業の課題・問題点	市が単費で雇用する白鳳中学校のSCは、適応指導教室入室に係る相談や教育相談室所属心理士へのアドバイスの時間も含むため、年間最大50回(350時間)の予算措置をしている。それに対して、県教育委員会から配置される新庄中学校のSCの持ち時間が削減され、年間最大17回(107時間)となり、両校で大きな差異を生じている。 ただ、白鳳中学校のSCが担当した相談者の内訳を見たとき、新庄地区の小・中学生に係る相談の割合が低いことが明らかとなった。そこで平成24年度は、相談者の要望や利便性を踏まえ白鳳中学校のSCに新庄中学校でもSC(年間100時間程度)を担当していただくことにした。その結果、新庄中学校地区で月1回のカウンセリング日で相談回数が82回となり全体の23%を占めている。この数字は、新庄中学校に県から派遣されているスクールカウンセラーの相談回数である105回(月2回のカウンセリング日)に比較して劣るものでなく、新庄中学校校区での活動成果が出ている。			

(有識者意見)

有識者意見	市単独で雇用しているスクールカウンセラーの活用を工夫することで、相談業務の充実、適応指導教室との連携等成果をあげている。教職員へのコンサルテーション回数も多く、教育現場での指導に生かされていることに感謝申し上げる。今後も市としての雇用を継続していただきたい。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	スクールカウンセラーの役割の中に、校内の教育相談体制の強化がある。市スクールカウンセラーが新庄中学校に配置されたことにより、市教育相談部会との連携を図りながら中学校校内における教育相談体制の強化を図っていきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	5
事務事業名	学校給食事業	担当課名	学校給食センター
係 名		施 設 名	学校給食センター

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	安全・安心～安全がまもられ、安心して暮らせるまち～		
	政策目標	社会生活の安全性の向上		
	施策目標	食に対する安心感を高める		
事業の目的	園児・児童・生徒の心身の健全な発達のため、安全で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食に関する正しい理解と判断力を養い学校での食育にも資することを目的とする。			
事業の内容	<p>葛城市の給食事業は、2箇所の給食センターから幼稚園5園・小学校5校・中学校2校に給食を実施している。給食数は1日4千食である。安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供し、合理化・効率化を図るために両センターが連携して献立の作成や食材の共同購入を行い、設備管理等における契約業務も統一して行っている。</p> <p>食育の取り組みでは、引き続き地産地消を推進して地元野菜への理解を深め、毎月の献立表に「給食だより」の欄を設けて旬の野菜等の説明を入れたり、給食時の指導材料として「学級のみなさんへ」というプリントを各学級に配布したりしている。</p>			
事業対象	幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		217,435	229,752
内一般財源			54,152	54,152	96,299	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			163,283	168,330	174,661	
人件費 ②			87,170	88,210	88,210	
総コスト①+②			304,605	317,962	359,170	
実績と 成果		区 分	単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業 実績	給食材料費	千円	173,919	179,043	183,317
		内市費	千円	10,716	8,565	8,666
		内保護者負担金	千円	163,283	163,283	174,651
	事業 成果	給食人数	人	4,013	4,150	4,165
		給食数	食	672,876	695,310	699,720

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>食材の値上りに対応するため、平成22年4月よりの給食費の値上げとともに市からの助成を受け、メニューの工夫・食材のやりくりを重ねて安全な給食の提供ができた。</p> <p>地場産物としては、米はすべて奈良県産米であり、ねぎ・鶏卵は市内産でまかなっている。季節の食材としては柿・いちご・酒かすも使用している。地場産物への理解を深める等食育の一環として今後も積極的に取り入れたい。</p>			
事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応 ・給食業務の外部委託化の検討 ・現在の両給食センターの一本化 			

(有識者意見)

有識者意見	<p>給食指導は食の安全・安心への啓発とともに地場産物への理解を深め、葛城市民として郷土への愛着を育むことにも繋がる。奈良県産食材の使用を今後も積極的に推進していただきたい。</p> <p>食育の言葉が示すとおり、単に空腹を満たすだけの事業ではなく、食べたいもの・与えたいものをすり合わせ、充実した内容を目指してもらいたい。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>地産地消については、より多くの地元食材や県内産食材を取り入れることを目指し、関係機関と価格、規格、使用量等をふまえ、議論を重ねながら引き続き推進したい。</p> <p>また、試食会等で保護者や児童・生徒に対し、給食指導や給食に対する調査を行い、その結果をもとに充実した給食内容となるように努めたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	6
事務事業名	図書館主催講座等事業	担当課名 図書館
係 名		施設名 葛城市立図書館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする
事業の目的	市民に図書館を身近に感じていただき、利用を促進する。 また、読書活動の推進や知識を身につけるための支援を行う。	
事業の内容	大人対象：文学講座「奈良近代文学余話」、葛城市子どもと楽しむ本の世界連続講座（市民および読み聞かせ等ボランティア養成講座）5回 子ども対象：木工工作、1日図書館員、ブックラリー、おはなし会、学校・幼稚園等へのおはなし配達、学校・児童館への図書への団体貸出 大人・子ども対象：古本市、ブックリサイクルフェア その他：葛城広域事務組合主催の「記紀と葛城」Web検定・スタンプラリーに参画	
事業対象	市民（大人・子ども）、おはなしボランティア、学校・幼稚園・保育所の先生等	
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算		
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		0	40	50
内一般財源			0	40	50		
内国・県補助金			0	0	0		
内受益者負担			0	0	0		
人件費			1,213	1,242	1,242		
総コスト①+②			1,213	1,282	1,292		
実績と成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業実績	子どもと楽しむ本の世界	千円	(191)	40	—	
		各種講座	千円	—	—	50	
		人形劇	千円	(101)	—	—	
	※ () 内は夢基金事業						
	事業成果	子どもと楽しむ本の世界	人	217	99	—	
		各種講座	人	679	639	640	
		人形劇	人	156	—	—	

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	ボランティア養成講座の計画においては、ボランティアと図書館が学びたいこと、学んでほしいこと等希望や意見を出し合って内容を練り上げた。その結果、双方が満足でき、協力・連携体制も強化された。またボランティアの人数も増加して活気づいている。質の高い講座を開講し、参加者に満足していただけた。			
事業の課題・問題点	ボランティアと図書館の関係は良好であり、協力・協働も深化している。新たにボランティアを始める方もおられる。しかし職員は人員不足であり、講座内容を企画段階で十分に練り上げることが困難である。ボランティアを志す人を育成し、円滑に知識や技術を習得できるように努めなければならない。そのためには職員の深い知識と豊かな経験も必須であり、人材育成と人材確保が課題である。 また、大人向けの講座を魅力的なものにするため、平成25年度に実施予定の前川佐美雄記念講演会を契機にしていきたいと考えている。こうしたことをきっかけに、図書館への来館者がふえることを期待するが、大きな事業の実施についても職員の人員不足が問題である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成23年度において、「小さい子どもは保護者と一緒でないと来館しづらい」という実情を顧慮し、平成24年度は親子を対象とした講座を企画したところ、参加者の満足を得られ、図書館へ足を運ぶきっかけとなった。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	職員の人員不足にも関わらずボランティアとの協力連携の強化を図り、事業の成果をあげている。子どもから大人まで幅広い市民の図書館利用に繋がるような講座の企画を今後も期待する。 多様なメディアがあふれる昨今、図書館離れが目立つ時代であるが、ボランティアや保護者を巻き込んだる年少者の利用促進に引続き努力していただきたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	平成25年度においては、講座の参加人数だけでなく、講座の内容を吟味検討し、ニーズにあった講座(親子で参加できるなど)を企画する。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	7
事務事業名	葛城歌壇短歌募集事業	担当課名 図書館
係名		施設名 葛城市立図書館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	伝統文化を継承するとともに新たな文化・交流を生み出す		
事業の目的	柿本人麻呂及び前川佐美雄二人の歌人を記念して、葛城市生涯学習の拠点づくりと短歌の故郷「葛城」を目指す。			
事業の内容	平成6年度より、葛城市ゆかりの柿本人麻呂、前川佐美雄の二人の歌人を顕彰し、短歌の故郷「葛城」を目指して短歌を募集している。 短歌の故郷「葛城」としての、短歌に親しむ裾野を広げるために短歌講座を開催した。			
事業対象	小学生以上			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算
		事業費 ①	単位			
事業コスト (単位：千円)		内一般財源		792	729	1,052
		内国・県補助金		0	0	0
		内受益者負担		171	183	180
		人件費 ②		2,186	2,833	2,833
		総コスト①+②		3,149	3,745	4,065
実績と 成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業 実績	選者	千円	180	280	280
		印刷、送料他	千円	743	612	932
		短歌講座	千円	40	20	20
		講演会	千円	(109)	—	—
	事業 成果	応募者	人	1,364	1,345	1,400
		応募作品	首	2,286	2,283	2,500
		短歌大会参加者	人	120	80	100
		短歌講座	人	79	47	50
		講演会	人	120	—	—

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>短歌大会も16回を数え、本市の定例歌会として、それなりに浸透してきた感があるが、マンネリに陥らぬよう、また新たに短歌作りに興味を持つ人が増えて気軽に参加できるよう、短歌講座を催した。参加者が詠んだ短歌を講師に添削・解説していただくことで、初心者・上級者を問わず、その力を高めることができ、参加者に喜ばれた。</p>			
事業の課題・問題点	<p>短歌大会も16回目を迎え、毎回参加を楽しみにしている方もおられ定着してきたが、新規応募者の更なる開拓と歌壇の周知が課題である。市民が短歌に親近感をもち、気軽な気持ちで日常的に短歌を鑑賞したり、作ったりできる環境を整え、生涯にわたる趣味や学習の対象となるよう、まずは本市が「短歌のふるさと」であることの周知に努めたい。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>平成23年度から配布先となる施設や結社を拡大し、歌壇の存在が多くの人目の目に触れるように工夫した。</p> <p>また、平成24年度から図書館のホームページから応募用紙をダウンロード可能にし、海外の応募者については、応募の際にメールアドレスなどをわかりやすく明記するよう工夫し、海外からの募集の拡大をはかった。</p>
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	<p>平成24年度の大会参加者・短歌講座参加者の人数が減少したことは残念に思うが、入賞者への記念品が予算化されたことを契機に今後応募者が増えることを期待する。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえた 担当課意見 ・数値目標 等)</small>	<p>平成25年度においては、入賞者への記念品等の予算が増額されたことにより入賞者の励みになると思われる。また、今年は「前川佐美雄 生誕110年記念事業」に関連して、募集にも力を入れる予定。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	8
事務事業名	ブックスタート事業	担当課名	図書館
係名		施設名	葛城市立図書館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	子育てと生きがいの両立		
	施策目標	地域で支えあいながら、楽しく子育てができるようにする		
事業の目的	絵本を介して赤ちゃんと保護者が触れ合う機会をつくれるよう、行政と地域が連携して子育てを支援する。			
事業の内容	健康増進課、ボランティア、図書館が連携・協力して、毎月実施される4ヶ月児健診時に実施。 絵本を手渡ししながらブックスタートの趣旨を伝え、絵本の読み聞かせを行う。			
事業対象	4ヶ月児健診対象の赤ちゃんと保護者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		257	257
内一般財源			257	257	280	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			1,149	1,156	1,156	
総コスト①+②			1,406	1,413	1,436	
実績と成果	区分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業実績	ブックスタート	千円	257	257	260
		わらべ歌講座	千円	—	20	30
		子育て支援講座	千円	—	20	0
	事業成果	ブックスタート	組	308	289	350
		わらべ歌講座	人	—	17	30
		子育て支援講座	人	—	15	30

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	ブックスタートは、赤ちゃんと保護者が心ふれあうひとときを持つきっかけになり、親子の愛情を育む上で効果を上げている。この事業も継続してきたことで事業の主旨がよく理解され、浸透してきた感がある。本を手渡しして読み聞かせをし、主旨を説明した方には喜ばれていることが実感できる事業である。 おすすめ絵本の紹介や子育て支援センターの催しの案内も行っており、図書館利用や催しへの参加者が増加している。			
事業の課題・問題点	ブックスタートにはボランティアの協力が必須である。新たなボランティアを獲得するためにも講座や研修は継続的に行っていかなければならない。 また、子育て支援センター以外にも連携できる機関を増やし、様々な立場の人が共通認識を持って取り組むことにより事業の充実に努めたい。			

(有識者意見)

有識者意見	4ヶ月健診を利用することで、親子でゆったりと過ごす時間を持ち、子育て相談の場にもなっていると考えられる。ボランティアの確保が課題であると思われるが、民生委員にも協力をお願いできないか。 まだまだ事業が市民に浸透していないのではないか。内容のある事業であるがゆえにPRの機会・方法を再考願いたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	平成25年度においては、健康増進課と協議してブックスタート事業の進め方などをさらに工夫し、改善に努めるとともに活動のPRを図る。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	9
事務事業名	成人式式典事業	担当課名 生涯学習課
係 名	生涯学習系	施 設 名

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる
事業の目的	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い励ますため、国民の祝日に関する法律に基づく成人の日に合わせて本事業を行う。大人としての責任を感じ、義務を果たすことの必要性を実感するための機会としたい。	
事業の内容	新成人による新成人のための成人式にするために、新成人からスタッフを募集し、企画・運営等について20回以上の会議を行い、協議を重ね、会場舞台の飾り付け等の諸準備も行うなどして、本事業を実施する。	
事業対象	新成人及び新成人関係者	
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/> 区分指定無	<input type="checkbox"/> 平成 ～ 平成 間

(実施内容)

	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		877	850	1,000
		内一般財源		877	850	1,000
		内国・県補助金		0	0	0
		内受益者負担		0	0	0
		人件費 ②		3,839	4,567	4,567
	総コスト①+②			4,716	5,417	5,567
実績と 成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業 実績	決算額	千円	877	850	1,000
		スタッフ会議	回	24	22	20
	事業 成果	参加者数	人	275	274	300
		対象者人数	人	364	351	350

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>新成人からスタッフを募集し、新成人が生み出すアイデアを多く盛り込み成人式を企画する。新成人が最も望むであろう形で成人式を実施する事が出来るため、参加者からの反応は概ね良いものとなっている。年度を重ねるごとに、行政が培ってきた経験を新成人スタッフへ伝達し、スタッフのアイデアに幅と深みが生まれるように、指導・助言を行っている。</p> <p>また、今年度は成人式の記念品をオリジナルのデザインをあしらったタオルとし、新成人スタッフがこだわって作成した。その甲斐もあってか参加者や保護者から好評を得ることが出来た。</p> <p>このように従来とは違ったスタイルでの成人式を実施することが、他市町村と比較して高めの参加率につながっていると考えられる。</p>			
事業の課題・問題点	<p>新成人スタッフが中心となって事業を推進するにあたり、スタッフが毎年更新される事と、スタッフの能力や積極性に左右され、安定した成果を生むことが難しい。</p> <p>行政側の経験を上手くスタッフ側へ伝達し、尚且つ行政のお仕着せとならぬよう、それぞれの年度の新成人の色を引き出すことが、今後のそして永遠の課題である。</p>			

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>人生の節目となる成人式を自分たちの企画で作り上げていくことに大きな意義がある。他市に誇れる事業に育てあげられたことと思う。</p> <p>20歳にもなると既に地元を離れて暮らしている人も多く、準備段階から担当課としてのご苦労も多いと思われるが、葛城市の手作りの成人式として位置付き築き上げられていることは大きな成果であると考えます。引き続き行政側が年々のスタッフの意欲を導き出し、特色のある成人式を演出していただきたい。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>行政の経験を積み上げ、翌年以降の事業実施に活かすことも重要であるが、毎年更新されるスタッフの確保がこの事業の最重要課題であり、成功へと導く為のポイントである。</p> <p>新成人の中には、地元を離れ生活する者も増えており、活動意欲があったとしても、会議への参加が難しい者も居る。今後は新たなスタッフの確保の手法を考察しながら、スタッフとの企画・運営会議の効率を高めていき、本事業の主体である新成人スタッフに対し、行政として出来る限りの指導と助言を行うことで新成人にとって一生思い出に残るような事業に作り上げていきたい。</p> <p>行政としては、本事業を新成人が自ら地域社会に積極的に貢献していけるよう、自覚を促す一助となる事業と考えている。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	10
事務事業名	生涯学習人材バンク事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	豊かな知識・経験・技能等をお持ちの市民にボランティア活動として学校教育や社会教育をお手伝いいただき、本市教育のより一層の振興を図ろうとするものである。 健康で生き甲斐のある明るく住みよいまちづくりに役立つことを目的に、人材バンク募集・登録及び派遣により生涯学習の推進を図る。			
事業の内容	人材バンク募集及び登録に基づき、自主的に活動している市内の団体やグループ、サークル等の学習活動の支援のための斡旋や派遣を行う。			
事業対象	市内自主活動グループ等			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		21	22
内一般財源			21	22	30	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			0	0	0	
総コスト①+②			21	22	30	
		区 分	単 位	平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 25 年度(目標)
		実績と 成 果	事業 実績	決算額	千円	21
事業 成果	登録者数		人	64	65	70
	派遣講師数	人	28	41	50	
	受講者数	人	41	49	70	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>人材バンクの登録者数は少ないながらも増加しており、指導分野も新しいジャンルのものが増えてきている。 しかし、派遣依頼数は極僅かであり厳しい状況が続いている。他課への事業説明と講師紹介を行い、他課が実施する事業への講師派遣が実現した実績もあるが、今後も積極的に新規開拓を行っていかねばならない。</p>			
事業の課題・問題点	<p>派遣依頼数が少ないため、他の事業へ積極的に講師を紹介し人材バンクの利用を促したい。 また、講師の紹介に際して、現在のプロフィールでは大まかな指導分野のみ記載されているが、詳細な指導方法などの詳細な情報を追加し、より興味を持てるものへと変更したい。 また、個人からの派遣依頼の問い合わせがあるが、現時点では団体からの依頼のみの受託であることが今後の検討課題である。</p>			

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>登録していただいている分野が多岐に渡り、市民のニーズに対応できる体制が整ってきているように思われる。派遣されている講師の活動状況の実態を把握し、今後更に活用されるよう方策を検討していただきたい。</p>
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>利用者が登録されている講師をより深く知り、希望に沿った講師を見つけ易くする為に、講師のプロフィール、詳細な指導方法、自己PRなどを記載した「履歴書」の様な物を作成し、利用者がより興味を持てるように変えていく。 また、市民へのPRだけでなく、行政内部や学校など、需要が見込めそうな場所・団体へのPRも進めていき、有識者よりご提案いただいたように多種多様な人材バンク登録者が活用できるよう工夫なり方策を検討していきたい。 また、他の部署とさらに連携を密にしながら、より一層事業の活性化を図ってきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	11
事務事業名	青少年健全育成事業	担当課名	生涯学習課
係 名	子ども・若者育成支援系	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	次代を担う青少年の健全な育成を地域ぐるみで図る。			
事業の内容	<p>市青少年健全育成協議会を組織し、所属団体の校長会・生徒指導主任者会・PTA協議会・県青少年指導員・高田警察署少年補導員の5団体間の連絡調整を行い、下記の活動を推進する。</p> <p>①広報・啓発活動の推進(市広報誌への掲載・駅等での啓発活動)</p> <p>②非行防止と環境浄化運動の推進(繁華街等での巡視活動)</p>			
事業対象	市内青少年			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業費 ①		400	400	400	
	内一般財源		400	400	400	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		1,317	1,906	1,906	
	総コスト①+②		1,717	2,306	2,306	
実績と成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業実績	会議	回	4	4	4
		研修会	回	0	0	0
		巡視活動	回	3	2	2
		街頭啓発	回	2	2	2
	事業成果	会議	人	65	72	80
		研修会	人	0	0	0
		巡視活動	人	38	46	40
街頭啓発		人	61	70	70	

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>当初の活動計画どおりに実施できたが、所属団体間の連絡調整だけではなく、団体が(全団体ではなくても)協力して活動できるような具体的な取組を進めることが必要であると考えます。</p> <p>巡視活動・啓発活動は各所属団体でも実施しているが、実績と成果に掲載した数は市青少年健全育成協議会が全体で取り組んだ数を示す。</p>			
事業の課題・問題点	<p>7月の「青少年の非行・被害防止強調月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」についての啓発活動を行っているが、市民が意識を持って自分たちの手で地域の青少年を育成するという行動に結びつくところまでには達していない。</p> <p>また、生涯学習課が業務の一部として担当する中で青少年の問題は大きな課題であり、この課題に専門的に対応する機関(他市にある青少年センター)の設置を検討する必要があると考える。</p>			

(有 識 者 意 見)

有識者意見	<p>青少年に関する諸問題・課題を総括し対応できる青少年センターの設置をぜひとも検討していただきたい。</p>
-------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>「地域住民の盛り上がり」が一番必要な事業であり、市民の皆さんの意識をどのように高めるかに重点を置きつつ、市青少年健全育成協議会の会員を中心に地域の青少年育成のための広報啓発活動を充実させていきたい。</p> <p>また、課題や有識者の意見にもあるように指導・助言機関として今後「青少年センター」の設置を検討して参りたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	12
事務事業名	学校・地域連携事業	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習系	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図り、地域住民と生徒との異世代交流を通して地域の連帯感を高める。			
事業の内容	学校教育の充実と地域・家庭の教育力の向上を図るため、市内各小・中学校に学校支援地域コーディネータを設置し、学校支援ボランティアの派遣等を行いながら環境整備支援活動等を中心に支援を行った。			
事業対象	市民及び市内小中学校教員			
事業年度	<input type="checkbox"/>	区分指定無	<input checked="" type="checkbox"/>	平成 23年度 ～ 平成 24年度 間

(実施内容)

		区 分	平成 2 3 年度決算	平成 2 4 年度決算	平成 2 5 年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		3,409	3,210
内一般財源			1,211	1,406	1,080	
内国・県補助金			2,198	1,804	2,160	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			1,272	1,299	1,299	
総コスト①+②			4,681	4,509	4,539	
実績と 成果		区 分	単 位	平成 2 3 年度実績	平成 2 4 年度実績	平成 2 5 年度(目標)
	事業 実績	運営委員会に係る経費	千円	420	455	460
		教育支援活動に係る経費	千円	2,989	2,755	2,780
	事業 成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	平成24年度は環境整備中心の支援であったが、地域住民や学校を訪れる保護者などから校内の花壇が見違えるほど美しくなったとの声が聞かれ、本事業は一定の効果をあげることができたと思われる。			
事業の課題・問題点	支援を行うためのボランティアの確保が当面の課題であったため、それぞれの学校で、PTA総会での呼びかけや保護者への案内文の発送等の募集を行っていただく事により、一定人数を確保する事ができた。			

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを見守り、育てていくために重要な事業であると思われる。市内小中学校で成果をあげていることに感謝し、今後益々の事業推進を期待する。
-----------	--

(方 向 性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	平成25年度は支援ボランティア募集の記事を学校だより等に掲載し、地元住民の方に配布するなど一層の周知を図ることにより、ボランティアの増員を目指したい。そこから新たな支援活動を展開し、学校・家庭・地域のより一層の緊密化を推進していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	13
事務事業名	生涯学習まちづくり推進大会	担当課名	生涯学習課
係 名	生涯学習係	施 設 名	

(計 画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	参画・活力～市民と行政が目標を共有し、ともに取り組むまち～		
	政策目標	市民参画による協働のまちづくりの推進		
	施策目標	地域コミュニティ・団体を育てる		
事業の目的	主に市内の小・中学校生の日頃の思いを発表する場とモデル分館(毎年2館指定)が、1年間の生涯学習活動の成果について発表を行う場として本事業を捉えており、明るく楽しい「生涯学習まちづくり」の推進を目指している。			
事業の内容	①モデル分館として指定を受けている新庄屋敷町コミュニティセンター及び當麻地区公民館による生涯学習活動発表 ・発表の内容は伝統文化の紹介、地域文化継承及び文化資源の保存等の取組 ・区民の交流の機会・場づくりを目指した取組 ②モデル分館指定を受けている2分館による手芸、絵画、写真等の展示会 ③市内小中学校児童・生徒による学校での体験学習や生活発表的な作文の朗読			
事業対象	市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業費 ①	552	554	554	
事業コスト (単位：千円)		内一般財源	552	554	554	
		内国・県補助金	0	0	0	
		内受益者負担	0	0	0	
		人件費 ②	1,365	1,142	1,142	
		総コスト①+②	1,917	1,696	1,696	
実績と 成 果		区 分	単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業 実績	参加人数	人	640	603	600
	事業 成果					

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>平成23年度と比較して参加者が減少しているが、要因は平成23年度のオープニングに幼稚園児の和太鼓演奏があったことで保護者等が多数参加されたためと思われ、平成22年度とほぼ同数の参加者であった。</p> <p>内容については、各地域における伝統文化や新たな取組等の紹介が行われ、地域文化を再認識するだけでなく、生涯学習活動を通じて地域住民の交流を図る良い機会となっていることに加えて、小中学生の作文発表や文化団体による発表などは、人生の糧となり得る貴重な体験をすることが出来る事業と考えている。</p> <p>指定した分館に年度当初に行っている説明会では不安を口にされる方も多く見受けられるが、地区住民が協力し、目標を持って取り組むことの重要性を理解してもらい、共通した目的を達成することの充実感を味わってもらえるよう指導している。</p>			
事業の課題・問題点	<p>モデル指定分館(2館)の発表について、残り20数分館を残すだけとなり、複数分館を抱える大字については再度の活動報告を求められるケースが出てきている。このような場合、複数分館を合同で行いたいとの意見もあり、今後実情に応じた対策を講じる必要があると思われる。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>地域伝統文化の紹介や地域ごとの特色ある発表は地域を知る良い機会になると考えられる。発表に向けて地域で協力していくことが人の繋がりを深め、住みよいまちづくりに発展すると考える。運営面での課題も多く担当課としての苦労もあるようだが、継続して行っていただきたい。</p> <p>生涯学習という事業の趣旨には賛成するが、事業の切り口に少し無理があるのではなかろうか。地域コミュニティ・団体を育てるということから、自治会との意見交流がもっと必要ではないか。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>今後も地域文化の紹介や地域ごとの活動発表を行うことにより、住みよいまちづくりに貢献できる事業として引き続き推進していきたい。</p> <p>また運営面での課題については、地域との意見交流を今まで以上に深めることにより、少しずつ解消していけるのではと考えている。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	14
事務事業名	子ども・若者育成支援事業	担当課名	生涯学習課
係 名	子ども・若者育成支援係	施設名	

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	進学や就職をせず社会とのつながりが希薄になることで、自宅以外での生活の場が失われている子どもや若者に対し、法にもとづき「葛城市子ども・若者支援地域協議会」を設置し、行政分野や関係機関と連携して適切な支援を継続的に講じることにより健全な社会人として生活できるようサポートする。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年10月7日に設置した「葛城市子ども・若者支援地域協議会」の運営 代表者会・実務者会および個別ケース検討会議の開催 開催議事運営・議事録の作成 ・相談窓口および面談室設置（当麻文化会館内サポートルームほか） 相談日 週4回（月・木・金・土）午前10時～午後4時 継続的面談や関係機関等への紹介の実施 ・継続的な支援の実施 			
事業対象	社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者とその家族			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		6,558	7,155
内一般財源			1,868	7,155	7,151	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			(4,690)	8,227	8,227	
※ ()内は人件費のうちの補助金額						
		総コスト①+②	6,558	15,382	15,378	
		区 分	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
実績と 成果	事業 実績	決算額	千円	6,558	7,155	7,151
		相談室設置	箇所	1	1	1
		面談室設置	箇所	1	1	1
	事業 成果	相談件数	件	17	33	50
		相談回数	回	187	446	450

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>「葛城市子ども・若者支援地域協議会」について、代表者会議を1回、実務者会議を2回、個別ケース検討会議を5回開催した。関係機関等と調整機関の相互交流も増加し、連携の下地作りも進んでいると考えられる。また支援者むけに『相互理解を深めるための小冊子』を作成した。</p> <p>相談業務について、平成23年度に比べて相談日数が1.6倍になっていることを踏まえても、相談件数は増加していると言える。相談の大半で主訴の解消や改善が見られたり、関係機関等へのリファーや情報提供を終えてたりしている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>関係機関等の相互連携がより円滑に行われるように「子ども・若者支援地域協議会」の運営を進めることと、コミュニケーション体験・料理・清掃等の日常生活体験・レクリエーション体験が出来る『居場所』機能の確保することが課題である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>平成22年度 「子ども・若者支援地域協議会」および葛城市サポートルーム設置</p> <p>平成23年度 葛城市サポートルームの相談日を週1日から週4日へ拡充</p> <p>平成24年度 子ども・若者育成支援係に一般職職員を1名配置。</p> <p>〃 葛城市サポートルームの臨床心理士を日替わりから専任に変更。</p>
-------------------	--

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	<p>臨床心理士が専任になり組織として充実されたことで、相談件数が増加し事業の成果もあがっている。所属機関のなくなった若者がニート、ひきこもりになっていき見過ごされることも考えられる。関係機関との連携をはかり、事業が推進されることを期待する。</p>
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	<p>平成24年度に引き続き専任の臨床心理士を雇用して相談内容のより一層の充実を図る。</p> <p>さらに、協議会の運用においても個別ケース検討会議やリファー等に加え、日常的に連絡を取り合うことで関係機関等との連携を強化していく。</p> <p>また、ニート・ひきこもりの子ども・若者とその家族の発見・誘導のための周知活動をより一層進めていく。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	15
事務事業名	公園まつり実行委員会業務	担当課名	中央公民館
係 名	中央公民館係	施設名	中央公民館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	互いの人権を尊重し、思いやりのある心と健全な精神を育てる		
事業の目的	地域住民が集う中で、市民ひとりひとりが仲間としての絆を強め、地域文化への理解をより一層深めることで誇りをもった活力あるまちづくりへの参加を目的とする。			
事業の内容	葛城市公園まつり実行委員会を主催者として、葛城市体育協会および区長会をはじめとする約22団体の協賛により屋敷山公園一帯での野外イベントを実施。踊りに太鼓、戦隊ショー、パフォーマンスショー、演劇、吹奏楽、模擬店、フリーマーケット、盆栽店、似顔絵、古本市にニュースポーツなど盛大に行なった。			
事業対象	市内地域対象住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業費 ①		1,500	1,500	1,500	
	内一般財源		1,500	1,500	1,500	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		3,485	2,972	2,953	
総コスト①+②		4,985	4,472	4,453		
実績と成果	区 分		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業実績	決算額	千円	1,297	1,488	1,500
		企画運営委員会	回	1	1	1
		実行委員会	回	1	1	1
	事業成果	参加人数	人	7,000	10,000	10,000
		協賛団体	団体	23	22	22

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>平成24年度は公園まつり始まって以来の4月開催となり、例年5月開催としていることから、4月開催の周知が十分かどうか大変心配したが、当日、朝から晴天にも恵まれ周知不足の心配を吹き飛ばす大勢の来場者で幕が開け、終日、全てのイベントで大盛況の最中、幕を閉じた。</p>			
事業の課題・問題点	<p>昭和50年から40年近く続いている伝統ある公園まつりだが、同事業は毎年の開催で、特に事業柱でもあるイベント内容においては、マンネリ化しないよう工夫を凝らす必要がある。</p> <p>また、協賛いただいている各種団体の方々にも公園まつり事業を実施してよかったと思っただけのような体制作りにも工夫を凝らしていかなければならない。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	<p>平成23年度までは担当課の生涯学習課が準備作業の際、當麻庁舎と中央公民館の往き来による作業ロスに見舞われるケースもあり大変であったと思うが、平成24年度から事務局を中央公民館へ移したことで、作業準備がスムーズに実施できた。</p> <p>また、周辺の交通事情においても、平成23年度から会場一帯のループ化と警備員の誘導で、特に交通渋滞も引き起こすこともなく実施できた。</p>
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	<p>担当課の変更により事業がスムーズに実施されたことは何よりである。40年近く続く伝統ある事業で、葛城市民だけでなく近隣の人たちも楽しみにされているイベントである。今後益々活性化していくことを期待する。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>40年近く続いて開催されている伝統ある事業として、協力いただく各種団体と連携をとりながら、毎年イベント内容に少しずつ手を加え、新たな試みなど工夫を凝らせながら多数の来場者に喜び楽しみ親しんでいただける事業として更に努めていきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	16	
事務事業名	地区館教室・講座事業	担当課名	中央公民館（當麻文化会館）
係 名	地区館係	施設名	5 地 区 館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	生涯学習社会の構築を目指す一環として、地域において趣味を同じくする人々や教養を身に着けたいと思う人々が地区館に通い、自主的な活動を推進する機会を提供するとともに、交流を深め、活動の輪を広げる。			
事業の内容	市内5地区館（疋田、忍海、北花内、磐城、當麻）において、絵画、手芸、いきいき体操、絵手紙、押し花、俳句、書道、華道、茶道、フラワーアレンジメント、料理、水彩淡彩画教室等の教室・講座を各種4回～20回を開催。			
事業対象	市内 在住・在勤者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業費 ①		2,474	2,459	2,620	
	内一般財源		2,474	2,459	2,620	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		915	953	953	
	総コスト①+②		3,389	3,412	3,573	
実績と 成果	区 分		平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業 実績	各種教室・講座	総回数	129	164	164
	事業 成果	参加人数	人	272	252	261

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>主な取組みとして、以下を事業達成の目的としている。</p> <p>例年、2つの教室においてスタッフが同席し、全受講者の学習能力を高めるために新規受講者と継続受講者の学習調整を行うなど、講師とも協力のうえ教室の支援を行っている。</p> <p>受講者が学習していく過程において、他の受講生との繋がりをもつことで、「学ぶ」という共通項のもと、人間関係が築かれ、教室に一体感が生じ、教室・講座をより楽しいものと考えていただくことで学習効果が上がるように努めた。</p>			
事業の課題・問題点	<p>新講座開設の要望もあるが、予算と場所の関係もあり、引き続き検討課題事項である。毎年継続して受講しておられる方が多数あり、新しい受講者と習熟度に違いが生じている教室・講座もある。新講座開設の課題と合わせて考えていかねばならない。</p> <p>定員をオーバーした教室・講座が1教室ある。講師の好意と受講者の理解により実施することができたが、昨年度に引き続き今後の課題点である。</p>			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成23年度に実施曜日に参加できなかった受講生が、平成24年度に実施曜日を変更したことで、参加できるようになった。
-------------------	---

(有識者意見)

有識者意見	地区館での教室・講座が通いやすく楽しみにされている人もおられると思う。高年齢で遠くへは出かけにくい受講者にとっては生活の潤いにもなっている。工夫・改善しながら継続していただきたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>趣味や教養を身につけたいと思う人々が大字の公民館へ参集し、交流および活動の場を拡充させ地域のつながりを高めることが目的の当事業は、受講者が学習する過程で「学ぶ」ことの楽しさによる効果が年々大きくなっていることから、今後も、工夫・改善を行いながら、継続できるよう努めたい。</p> <p>また、地域との密着を深めながら、新たな教室・講座の導入などを考慮していきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	17	
事務事業名	中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業	担当課名	中央公民館・當麻文化会館
係 名	中央公民館係	施設名	中央公民館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	必要な知識や能力を身につけられるようにする		
事業の目的	市民等の教育、学術、文化及び教養向上のため、「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。			
事業の内容	<p>『社会教育法』第20条(目的)、第22条(公民館の事業)ならびに『公民館の設置及び運営に関する基準』第3条(地域の学習拠点としての機能の発揮)に基づき、市民等の教育、学術、文化及び教養の向上のための「教室・講座」を開講して学習活動を支援するとともに、仲間づくりなど交流の機会を提供する。</p> <p>1. 中央公民館 7 教室 [成人⑤：華道、きもの着付け等 子ども②：絵画、茶道] 16 講座 [成人⑩：ガーデニング、暮らしのマナー、中国語等 子ども⑥：親子クッキング、親子お菓子・パンづくり、 親子陶芸(土)(日)、野外活動体験 等]</p> <p>2. 當麻文化会館 18 講座 [成人⑮：絵画、パソコン講座(入門等6コース)等 子ども③：寺子屋、葛城塾、親子おもしろ工作]</p>			
事業対象	市内在住者・在勤者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

			区 分	平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算
			事業費 ①	3,819	3,936	4,247
事業コスト (単位：千円)			内一般財源	3,819	3,936	4,247
			内国・県補助金	0	0	0
			内受益者負担	0	0	0
			人件費 ②	9,962	10,503	11,109
			総コスト①+②	13,781	14,439	15,356
実績と 成果	区 分		単位	平成 23 年度実績	平成 24 年度実績	平成 25 年度(目標)
	事業 実績	中央公民館	謝金	2,358	2,441	2,745
		當麻文化会館	謝金	1,461	1,495	1,502
		合計	謝金	3,819	3,936	4,247
		中央公民館	受講者数	3,332	3,698	4,122
	事業 成果	當麻文化会館	受講者数	2,408	2,475	2,636
		合計	受講者数	5,740	6,173	6,758

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト削減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>学習の促進とふれあいの場を提供することを目的に、成人・子ども・親子を対象とした各種教室・講座を実施開催している。</p> <p>成人講座では、華道、茶道、書道、料理、着付け、ヨガ、パソコンといった趣味や教養を活かした講座、子ども・親子では、料理やお菓子・パンづくり、陶芸といった「作る楽しさ」を学ぶ講座を開催した。</p> <p>また、夏休みには子ども向けのイベント講座として、野外活動体験、寺子屋も開催している。どの講座も人気で、受講者の受講意識や関心が非常に高く、結果、親子対象講座、パソコン講座をはじめ多くの講座が抽選となっている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>教室・講座は受講料が無料(教材費等は受講者負担)である。少数だが、締切後安易に教室・講座を辞退される方がおられることから、教材費が発生する講座については発注が生じるため、費用負担をお願いしている。</p> <p>その他では、同じ教室や講座を連続しての受講が毎年散見される。(定員を超える申込がある場合、抽選の場合は新規応募者を優先。)</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>子どもから大人まで幅広い年齢層に対応した教室・講座の開催により参加者も増加傾向にあり、実績をあげていると思われる。</p> <p>箱物の利用という観点から分かれているのであろうが、No. 16 地区館教室・講座事業と統合改変すべきではと考える。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>今後も受講者の動向を把握し経過状況を見つつ、市民の要望や地域の特性を活かした教室・講座を開催したい。</p> <p>また、受講料が無料のためか安易に辞退される方も散見されるため、今後、受講者の興味を湧くような内容等を検討し、市民への「学び」と「ふれあい」の機会提供の更なる充実を目指した運営に努めたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	18
事務事業名	文化振興事業	担当課名	新庄・當麻文化会館
係 名	総務係・文化会館係	施設名	新庄・當麻文化会館

(計 画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に質の高い文化に触れる機会を設け、葛城市芸術文化を発信し、創出する。			
事業の内容	魅力ある自主事業を展開することによって、新たな芸術、文化ファンを増やし、地域の文化水準の向上を目指す。 毎年、コンサート、子ども劇場、お笑い劇場等の公演を実施している。また、市民参加・参画型事業として「ミュージックフェスティバル」や葛城市民劇団「風塾」「くすのき」等による演劇公演も実施する。			
事業対象	市民及び近隣市町村の住民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算
			単位			
事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			12,974	16,639	17,950
	内一般財源			8,478	9,875	11,477
	内国・県補助金			0	0	0
	内受益者負担			4,496	6,764	6,473
	人件費 ②			6,163	6,726	6,726
	総コスト①+②			19,137	23,365	24,676
	実績と 成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績
事業 実績		自主事業入場料	千円	4,496	6,764	6,473
		自主事業 委託料等料	千円	12,974	16,639	17,950
事業 成果		自主事業入場数	人	4,789	4,981	4,800
		自主事業 (有料)開催数	本	3	3	4
		自主事業 (無料)開催数	本	6	7	6

(評 価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	市民参加・参画型のミュージックフェスティバル、市民劇団、アンサンブルウイズ等の公演事業は周知がかなり進み、市民が手軽に文化や芸術と触れあえる機会、自らが創造、発信するかけがえのない機会として大変有意義なものとなっている。			
事業の課題・問題点	有料の事業については、市民が興味や関心、期待感を持ち、満足していただける事業を実施することで、集客人員の増加が期待できる。アンケート等を実施し観客ニーズにあった公演等にしぼりこんで計画し満席にする方向を目指しているが、財政面から考えると、観客のニーズにあった自主事業でさえキャパシティの面で事業コストの課題が残るため、事業本来の目的と市民ニーズのかねあい等を十分に慎重に検討していきたい。 また新庄、當麻両文化会館とも築20年以上経過しているため施設改修が今後の課題である。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	ニーズを把握するために、自主事業公演時に毎回アンケートを実施した。お笑いものについては開館以来吉本新喜劇、寄席等の公演を行ってきたが、ここ数年は入場者数が思わしくないため、平成23年度に大衆芸能、平成24年度にはいっこく堂の腹話術等を試みたところ、大盛況であった。平成24年度は地元こどもコーラスグループとアーティストと一緒に舞台に立ち会場をおおいに盛り上げた。 またポスターチラシ等を置いてもらえる場所やチラシ送付先の拡大、タウン誌などの無料広告を利用して宣伝効果を上げ収益につなげた。
-------------------	---

(有 識 者 意 見)

有 識 者 意 見	文化を身近なものと感じていただける良い機会となるよう、市民のニーズにあった事業の計画・展開を期待する。
-----------	---

(方 向 性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	近隣の指定管理者制度の導入や合併などの影響により採算性や重複した活動の継続性を問われている今日ではあるが、市民と協力して「継続的な取り組み」を行うことにより、地元の文化団体や人材を育て、音楽や演劇などの舞台芸術を身近に体験してもらえる場所として今後も地域の交流の拠点となるよう事業計画を行っていく。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	19
事務事業名	展示（常設展・特別展等）事業	担当課名	歴史博物館
係 名	歴史博物館	施設名	歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	展示会を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。			
事業の内容	展示会（年間企画展3回・特別展1回）の開催、展示図録・目録等の発行。			
事業対象	市民等来館者			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	単 位	平成23年度決算	平成24年度決算	平成24年度予算
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①			3,631
内一般財源				3,257	2,981	3,633
内国・県補助金				0	0	0
内受益者負担				374	478	254
人件費 ②				10,587	10,587	10,587
総コスト①+②				14,218	14,046	14,474
実績と 成 果	区 分		単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成24年度(目標)
	事業 実績	入館者数	人	4,942	5,277	4,800
	事業 成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	葛城市広報や県広報、市内放送、市内各区の掲示板へのポスター掲示、新聞報道などを活用し、市民に対して特別展等の開催をお知らせしている。これにより郷土の歴史に対し関心を持つ市民等に、特別展等の開催内容について広く周知が出来ていると考えられる。平成24年度において若干の入館者数の増加があったが、これは例年の展覧会に加え、臨時的に特別陳列展を開催したことによるものである。このことを除けば、顕著な入館者数の増加は無いが、今後も年4回の特別展・企画展等の基本的な普及事業を開催し、より一層効果的な周知方法を見出すべく検討も行い、一人でも多くの市民に入館していただけるようにしていく必要がある。			
事業の課題・問題点	特別展・企画展は例年通り年合計4回の開催を予定しているが、当館及び各所広告経費の予算削減により広告範囲が縮小気味となりつつあるため、催し物情報の発信範囲が狭まり、市民の隅々にまで届きにくい状態となってきている。このことから、経費のかからない新たな効果的広告手段の模索しているところである。 展示事業等の開催経費についても限られた予算措置となっており、効果的な予算の運用努力を行うものの、公的博物館として社会教育の普及啓蒙を推進するうえにおいて非常に厳しい状態である。			

(有識者意見)

有識者意見	予算削減の状況で苦しい運営を迫られている中、予算の配分を工夫しながら特別展の開催を実施していることに感謝する。 葛城市の面目にかけても充実させねばならない事業である。予算の獲得に苦勞の跡が伺えるが、行政側の深い理解を望みたい。施設修理も必要になってきているようなので必要経費の見直し・検討をお願いしたい。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	市民の方々に当博物館の企画展・特別展などの諸活動を広く知っていただくため、市内・外に向けてさらに効果的な広報活動の模索を続けてまいりたい。そして、市民や児童生徒が地域の歴史・伝統文化に関心と親しみをもち、郷土を愛する心を育むための事業展開を強く実施したい。 なお、博物館普及活動と効果的な情報発信の為の経費、施設の維持管理経費に対しても、その必要性を丁寧に訴え、予算要望し、改善を進めてまいりたい。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	20
事務事業名	歴史講座開催事業	担当課名 歴史博物館
係 名	歴史博物館	施設名 歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～				
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進				
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす				
事業の目的	歴史講座等を通じて地域の歴史文化を紹介し、市民が地域の伝統文化等に関心を高め、愛郷心が育まれるようにしたい。					
事業の内容	葛城地域の歴史文化や新しい歴史研究の成果についてわかりやすく詳しく紹介し、市民の愛郷心を育むことを目標に、歴史文化講演会「葛城学へのいざない」を開催する（年間12回）。 また、夏季には高学年児童を対象に土器等を制作体験する親子ふれあい講座、秋には市内にて歴史ウォークを開催する。					
事業対象	市民等来館者					
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成	～ 平成	間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		290	230
内一般財源			290	230	320	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			950	950	950	
総コスト①+②			1,240	1,180	1,270	
実績と 成果	区 分	単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業 実績	参加者数	人	1,291	1,250	1,300
	事業 成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	<p>葛城市広報や市内放送、新聞報道などを利用し、市民に対して歴史講座等の開催をお知らせしている。これにより郷土史に関心を示す市民等に歴史講座の開催内容が周知出来ていると考えられる。</p> <p>また、当事業の講座は毎回平均100名程度の参加者を得ており、参加者からの意見では内容についても好評である。今後はより一層効果的な周知方法や講座内容について検討し、一人でも多くの市民に受講していただけるように継続していく必要がある。</p>			
事業の課題・問題点	<p>例年通り年合計12回の歴史文化講座「葛城学へのいざない」の開催を予定しているが、葛城地域にまつわる歴史文化をテーマとしていることから話題も限られるため、講座内容がマンネリ化とならぬよう十分に検討した。しかし検討したにも関わらず、平成24年度は当初の予想に反し、受講テーマによっては受講者数が若干の減員となってしまった。今後も郷土の歴史文化への正しい理解と、郷土への愛郷心を育む、市民の為の普及講座として、引き続き市民に参加していただけるようにしていくことが課題である。</p> <p>また、問題点としては、講師への謝金に対しても予算削減を求められる状態にある中で、充実した講座を維持していくことが徐々に困難となってきている。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>充実した講座の維持が困難ということであるが、毎回100名ほどの参加者もある事業なので継続できるよう予算の見直し・検討をお願いしたい。</p> <p>自治会に絞った講座について、開催の際に区長や自治会役員にも働きかけ「連れもっていこう」というような取組みもあってよいのではないかと。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>先人により築かれ、守り継がれてきた大切な葛城市の歴史文化遺産が今後も保全・継承されるよう、郷土に関する歴史事象や伝統文化などに焦点をあてた講座等の開催を継続してまいりたい。</p> <p>また、地元や近郊で新たな講師を見つけ、各地域の歴史文化情報を紹介するなど、広くその情報発信に努め、市民が地域の伝統文化等に関心を深め、葛城市への郷土愛がさらに高まるよう普及活動を実施していきたいと思う。</p> <p>また、予算面についても、その必要性を訴え、予算確保すべく引き続き要望していきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	21
事務事業名	埋蔵文化財等調査事業	担当課名	教育総務課・歴史博物館
係名	文化財係・歴史博物館	施設名	教育総務課・歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～		
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進		
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす		
事業の目的	市内地域の埋蔵文化財の保護			
事業の内容	市内遺跡内で工事が行われるに際し、提出される発掘届出書を県教委へ進達する。それについて県教委から出される指導事項に従い、市の担当職員が現場にて発掘調査や現場立会等を実施し、調査結果報告書を作成し、県教委へ提出する。また、市内遺跡の範囲確認等のため発掘等の調査を実施し、国・県へ報告する。			
事業対象	一般事業者・市民			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		2,000	2,000
内一般財源			500	500	500	
内国・県補助金			1,500	1,500	1,500	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			3,352	3,352	3,352	
総コスト①+②			5,352	5,352	5,352	
実績と成果	事業実績	区 分	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
		調査事業	件	4	8	6
	立会等	件	7	12	10	
	事業成果					

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要</p>			
評価の説明	<p>合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大した。また、当該エリア内における開発件数も共に増加していることから、調査事業も人員的に困難ではあるが、他事業との兼ね合い調整の結果、着実に実施し成果を上げている。</p>			
事業の課題・問題点	<p>合併に伴い葛城市になったことで、埋蔵文化財包蔵地エリアも増大し、当該エリア内における開発件数も共に増加している。また、分譲住宅開発等土地開発事業が増加傾向にある中で、現場対応できる技術職員配置体制が1名と旧町体制レベルであり、更に博物館業務と兼務であることから、博物館事業との兼ね合いにも多くの困難を呈する状況である。埋蔵文化財を主担当とする職員が、文化財を有する他の県内市町村なみに配置出来ていないことに問題と課題がある。については今後、文化財係の中に文化財行政業務に対応できる専門技術職員の配置をする必要がある。</p>			

(有識者意見)

有識者意見	<p>専門技術員の配置が現在一名で文化財行政事務に対応している現状は負担が大きい。地域の文化財を守っていくためにも、専門職員の増加を検討いただきたい。予算の獲得に苦労の跡が伺えるが、行政側の深い理解を望みたい。</p>
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	<p>本市における埋蔵文化財の調査・発掘・保存の業務については、将来のまちづくりに欠かせない業務である。人事・財政的に困難な面も伴うが、関係機関と十分に連携をとりながら計画的かつ円滑に事業が実施できるよう努めたい。 また、業務の円滑化を進める上で、今後とも関係職員の増員について要望していきたい。</p>	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	22
事務事業名	文化財保存事業	担当課名
係 名	文化財係・歴史博物館	施設名
		教育総務課・歴史博物館

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	愛着・快適～自然や歴史遺産の豊かさと住みよさが共存する、愛されるまち～					
	政策目標	歴史・文化の保全・継承と交流の促進					
	施策目標	歴史遺産をまもり、来訪者を増やす					
事業の目的	市内における国宝等指定文化財の保存事業。						
事業の内容	<p>市内にある歴史遺産（国宝・重要文化財等）保存のため、文化財所有者等が行う保存修理などの「文化財保存事業」が実施されるにあたり、市内の歴史文化を保全・継承していく為に国・県と共に葛城市も事業助成を行った。平成24年度は重要文化財 当麻奥院本堂・方丈保存修理及び村井家住宅保存修理事業ほか4件の保存事業が所有者等により実施され、その事業助成を実施した。</p>						
事業対象	市内の国宝等指定文化財所有者						
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成	～	平成	間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		194,810	144,237
内一般財源			14,263	6,575	5,491	
内国・県補助金			140,388	109,975	156,682	
内受益者負担			40,159	27,687	14,706	
人件費 ②			1,089	1,089	1,089	
総コスト①+②			195,899	145,326	177,968	
実績と成果	区 分	単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業実績	市内重要文化財等	件	8	6	5
事業成果						

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分貢献している	<input type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	A	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	長い間守り伝えられてきた文化財は日本の伝統文化を今に伝え、また未来へ伝える必要のある大切なものである。しかし、文化財の多くは長年の経過により本体が脆弱で定期的な保存修理等が必要である。市内の重要文化財等のうち、保存修理が急がれる奥院本堂・方丈の保存修理、村井家住宅保存修理事業等の文化財保存事業が行われている。歴史遺産を守ることを市の重要施策目標とするうえで、文化財保存の為の事業に対し今後とも事業助成の必要がある。			
事業の課題・問題点	文化財は日本の地域伝統文化を今に伝え、また未来へ引き継ぐべき大切なものである。歴史遺産の保護を市の重要施策目標とするうえにおいて事業助成は必要である。ただ、文化財の保存に要する経費は決して低くないことから、文化財所有者にとっても、また助成する市にとっても、厳しい財政状態の中で決して容易な負担額ではない。しかし、財政的に困難であっても文化財保存を市の重要な施策とし、今後も国・県・所有者とともに継続して取り組む必要があり、当面はその予算確保が課題である。			

(有識者意見)

有識者意見	厳しい財政状態とはいえ、事業助成は継続して文化財保存事業を計画的に推進していただきたい。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 (上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)	市民の財産である歴史遺産の保存は、国のみならず奈良県や本市の責務である。今後も関係機関と連携しながら適正な保存事業が行われるように細心の配慮を行うと共に、文化財保存の為の事業助成については、国・県ともに連携のもと、財政状況も勘案のうえ可能な限り計画的かつ適正に実施できるよう努めたい。 また、市民に対し文化財保護の重要性を啓発することに努め、財政負担についてもご理解頂けるように努力したい。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	23
事務事業名	各種教室開催事業	担当課名 体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名

(計画)

総合計画上の 位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	市民に教室等を紹介し、スポーツに親しむ機会を提供して健康増進を図る。			
事業の内容	<p>在住・在勤者を対象に、スポーツに親しんでいただくきっかけづくりのため各教室を開催する。幅広い年齢層のスポーツニーズおよび教室の実施対象者のニーズを把握し、できるだけ多くの方の参加を目指す（初心者優先）。</p> <p>年齢や生活環境に適した幅広い市民のスポーツ人口の増加推進に努める。また、親子テニス教室や親子体操教室のように親子でふれあえる教室のニーズが高まっているので、さらに充実していく。</p>			
事業対象	教室・講座受講者（市内在住・在勤者）			
事業年度	<input checked="" type="checkbox"/>	区分指定無	<input type="checkbox"/>	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		1,540	1,673
内一般財源			1,540	1,673	1,722	
内国・県補助金			0	0	0	
内受益者負担			0	0	0	
人件費 ②			2,627	2,627	2,627	
総コスト①+②			4,167	4,300	4,349	
実績と 成 果	区 分	単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業 実績	小学生	千円	560	882	882
		一般	千円	560	560	560
		親子教室	千円	420	231	280
	事業 成果	小学生	人	119	135	150
		一般	人	71	68	55
		親子教室	組	40	38	35

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	親子対象の教室やサッカー教室は人気があり、親子のふれあい並びに子どもの体力向上、バランス感覚養成に役立っていると思われる。 今後、さらに市民のニーズに応じて体力づくり・健康増進に繋がる事業としていきたい。			
事業の課題・問題点	スポーツに限らず全ての教室生とクラブ員とを区別できるように、教室生は初心者のみでの参加となるよう説明努力の必要がある。			

評価を受けての改善点(過去3年間)	平成24年度からテニス教室の人気により、新庄地区(屋敷山テニスコート)でジュニアテニス教室を開始し、新庄スポーツセンターでは子どものバランス感覚を養うためジュニア体操教室を始めた。
-------------------	--

(有識者意見)

有識者意見	時代の流れと共に人気のあるスポーツも変化していく。常にニーズを把握し、各教室の開催に活かされているため参加人数も増加していると思われる。地域では子どもたちが外で遊ぶ姿を見ることが少なくなっているが、小学生の参加が増えているのは喜ばしいことである。 初心者への参加優先、親子で参加可能なスポーツの開拓と、課題ははっきりと見えている。広報誌だけでなく、市民体育大会や公園まつりでPRしてはどうか。
-------	---

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	子どもから高齢者まで幅広く参加できる教室を開催し、スポーツに親しむことで市民の健康増進・体力向上に寄与するためにメニュー、内容等を精査して継続していきたい。	

教育委員会事業評価シート

		事業No.	24
事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	担当課名	体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名	

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	各種スポーツ大会等を企画し市民の参加を促す。			
事業の内容	<p>市民が積極的に参加できる各種大会の開催や後援などを通してスポーツの振興を図り、健康・体力づくりを支援する。市体育協会及び加盟団体とともにスポーツへの関心を高め、生涯スポーツの振興と体力・健康づくり及び技術の向上を図る。</p> <p>市民体育祭をはじめとする各種のスポーツ・レクリエーション大会等の行事については、参加及び実践意欲の向上をかんがみて内容等を検討し、さらに多くの市民がスポーツに親しむように努める。</p>			
事業対象	大会参加者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

事業コスト (単位：千円)	区 分		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
	事業費 ①		4,548	4,548	4,548	
	内一般財源		4,548	4,548	4,548	
	内国・県補助金		0	0	0	
	内受益者負担		0	0	0	
	人件費 ②		5,286	5,286	5,266	
	総コスト①+②		9,834	9,834	9,814	
実績と成果	区 分		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)
	事業実績	大会事業費	千円	4,548	4,548	4,548
	事業成果	大会参加者数	人	9,748	9,854	10,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	参加者数は横ばい状態であるが、今後新しいメニューも取り入れて、ローコストでハイリターンの大会運営を目指していく。			
事業の課題・問題点	平成16年10月に旧當麻町と旧新庄町が合併して以降、大会メニューがほとんど変わっていないので、新しい大会を考える時期にあると思われる。			

(有識者意見)

有識者意見	<p>市民体育祭やマラソン大会など、市の大きな事業として位置付き、開催を心待ちにしている人もおられると思う。新しいメニューを取り入れていくために情報収集し、検討して欲しい。</p> <p>大会の盛り上がりも大切だが、欧米のようなクラブチームの育成が出来ればとも考える。</p>
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	総合スポーツクラブの設立を目指して幅広く参加できるものを構築したい。	

教育委員会事業評価シート

	事業No.	25
事務事業名	体育施設の運営事業	担当課名 体育振興課
係 名	体育振興係	施 設 名

(計画)

総合計画上の位置付け	政策の柱	やさしさ・生きがい～心豊かな人が育ち、誰もが生きがいをもって過ごすまち～		
	政策目標	学校教育や生涯学習による心豊かな人づくり		
	施策目標	芸術文化活動やスポーツ活動などを活発にする		
事業の目的	体育施設の安全で効率的な管理および運営			
事業の内容	体育館 4カ所 当麻スポーツセンター体育館、市民体育館、新庄スポーツセンター体育館、いきがい体育館 運動場 4カ所 当麻健民運動場、新庄第1健民運動場、新庄第2健民運動場、新町球技場 テニスコート 3ヶ所 当麻スポーツセンターテニスコート、新町公園テニスコート、屋敷山公園テニスコート プール 2ヶ所 新庄、当麻両スポーツセンタープール 上記体育施設の維持管理・運営を職員3名、嘱託2名、アルバイト2名で行っている。			
事業対象	施設利用者（市内在住・在勤者）			
事業年度	■	区分指定無	□	平成 ～ 平成 間

(実施内容)

		区 分	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	
		事業コスト (単位：千円)	事業費 ①		37,775	41,109
内一般財源			36,355	39,829	99,425	
内国・県補助金						
内受益者負担			1,430	1,501	1,102	
人件費 ②			5,156	5,156	5,156	
総コスト①+②			42,931	46,265	105,683	
実績と 成果	区 分	単 位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度(目標)	
	事業 実績	施設管理費	千円	37,775	41,109	100,527
		内修繕、工事費	千円	14,589	17,797	48,598
	事業 成果	施設利用者	人	172,721	164,041	170,000

(評価)

事業の評価	妥当性(市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策目標の実現に貢献しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分貢献している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね貢献している	<input type="checkbox"/> あまり貢献していない	<input type="checkbox"/> 貢献していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
総合評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
総合評価	B	A 優れた取組が多く、十分成果が上がっている B 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い D 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要		
評価の説明	安全かつ快適に施設をご利用いただくために、点検・改修を行っている。平成23年度は新町球技場の防球ネット設置及び當麻スポーツセンタープール改修等を実施し、平成24年度は夜間照明の改修等を実施した。			
事業の課題・問題点	施設の老朽化に伴い、抜本的な改修計画(改築、補強、取り壊し等を視野にいれた検討)が必要と思われる。 また、利用者のマナーアップ意識を高めて施設、器具を大切にご使用いただきたい。			

(有識者意見)

有識者意見	少ない人員で施設の維持管理に尽力されていることに感謝する。 老朽化に伴う危険箇所の点検、修理、改修を計画的に実施し、安心して使用できる施設として維持管理をお願いしたいが、現状の人員で全施設を安全管理・運営することは至難の業であると思われる。 責任の所在という問題はあるものの、クラブチームやスポーツ団体のボランティアに依頼するなどして市民合作の管理・運営が出来ないものか。
-------	--

(方向性)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する	<input type="checkbox"/> 終了・完了
施策等への反映方針 <small>(上記を踏まえての担当課意見・数値目標等)</small>	県内の他市で実施しているように、施設の運営を体育協会等に委託または指定管理の方向で検討する必要がある。そのために市民から施設使用料を徴収しなければならないので、理事者の決断が必要である。 平成25年度はウェルネスの大改修を予定している。施設の改修とともに利用者に使用上のマナーアップを呼びかけ、みなさんが快適に利用できるよう努力を続ける。	

7. 点検及び評価のまとめ

教育に関する事務の点検及び評価報告書（各事業評価シート）について、教育委員会より以下の意見を受けました。

（1）各事業に対する意見について

事業No. 1 小・中学校地震補強・大規模改造工事

地震補強についていち早く取り組み、耐震化率100パーセントとなったことは立派な業績である。引き続き各種建築物や設備等について点検・管理を徹底し、安全で安心できる学校環境づくりに努力していただきたい。

事業No. 2 相談（来室・訪問）事業・研修支援

巡回相談の回数を増やし、相談待ちが解消され保護者の相談に対応できる体制作りを務めていることは大変喜ばしいことである。

プライバシー保護のためにも他施設の利用・改修を検討されたい。

事業No. 3 適応指導教室

不登校傾向児童・生徒の記録を取り、不登校防止に努めていることは評価できる。今後は教育相談部会が活性化することに期待する。

年々取組みの充実を図っていくことを願う。

事業No. 4 スクールカウンセラー（SC）

新庄中学校・白鳳中学校間で差異が生じないようにスクールカウンセラーを活用されたことは有意義なことである。市としての雇用継続を望む。

今の子どもたちの悩みは複雑で、その親までも非難の対象となる場合もある。各学校のPTAへ直接悩みを訴えられるケースも多いので、SCがPTA本部役員から子どもの状況や情報を得る必要があると考える。

事業No. 5 学校給食事業

葛城市の給食はとても美味しいと好評である。今後も地産地消を推進していただきたい。アレルギー対応については、個々の児童・生徒の実情を把握し、徹底したチェックをお願いする。

事業No. 7 葛城歌壇短歌募集事業

短歌募集並びに大会の実績が認められ、記念品が予算化されたことは大きな進歩である。更なる活動の拡大を望む。

事業No. 8 ブックスタート事業

事業の目的や内容を対象者に合わせて展開できており、高く評価できる。

事業No. 9 成人式式典事業

新成人スタッフを中心となり事業を推進していく形態が葛城市の成人式として定着していることは高く評価できる。

スタッフが毎年更新される中、行政側の押し付けとならぬように配慮する必要がある。新成人スタッフの企画・立案であるがゆえに成就感あふれる成人式を今後も見守りたい。

事業No. 10 生涯学習人材バンク事業

講師の実績などを利用者に伝えるため、ホームページ等に公開するなど広報活動に力をいれていただきたい。

事業No. 11 青少年健全育成事業

青少年に関わる諸問題は多種多様である。協議会は広報・啓発活動の推進に留まるため、早急に専門的に対処できるよう青少年センターを設置し、専門的な人材の雇用を検討されたい。

事業No. 13 生涯学習まちづくり推進大会

どの地域にもその地域の良き伝統文化がある。それを掘り起こし、再確認する良い機会となっている。ただ、将来を見据えて若者も交えての企画立案でありたい。また、小中学生の作文は身近に感じたことや人と人とのふれあい、将来の葛城市像の書かれた作文が増えてきており、喜ばしいことである。

事業No. 14 子ども・若者育成支援事業

待ちの姿勢でなく積極的に取り組んでいることは高く評価できる。今後地域の民生委員から協力を得られると良いのではないか。

ニート、引きこもりの人数は想像以上に多いと考えられる。多くの家族にサポートルームの存在を知っていただくため広報誌等で取り上げ、事業を盛り上げていただきたい。

事業No. 15 公園まつり実行委員会業務

多くの市民に参加していただけるよう、マナー化等にも注意しながら事業を推進していただきたい。

事業No. 16 地区館教室・講座事業

人数の多少に関わらず、大字の公民館で交流及び活動の場を設けることは人と人との輪を広げる良い機会となっている。更なる工夫・改善をしながら継続されたい。

事業No. 17 中央公民館 當麻文化会館 教室・講座事業

受講者の動向をよく把握できている。更なる事業の展開に期待する。

事業No. 18 文化振興事業

これからも施策目標にのっとった事業を期待する。

事業No. 19 展示（常設展・特別展示等）事業

一人でも多くの市民の入館を期待するところであるが、将来を見据えて市内の学校と連携をとり、出来るだけ多くの児童・生徒の学習の機会を設けて欲しい。

事業No. 20 歴史講座開催事業

予算削減を求められる中、市民に歴史文化を学んでいただく機会となるよう予算の確保が必要である。

事業No. 21 埋蔵文化財等調査事業

有識者意見と同じく、行政側の深い理解を望む。

事業No. 23 各種教室開催事業

常に各教室の参加状況等を把握し企画立案されており、評価に値する。

事業No. 24 各種スポーツ大会等開催事業

テーマ設定をはっきりと打ち出すとともに、マンネリ化にも注意しながら事業を進めていただきたい。

事業No. 25 体育施設の運営事業

有識者の意見にもあるように、施設の維持、管理についても利用市民・団体の協力を得る方法を画策すべきである。

(2) 総評

事業ごとの主要施策に対する事務局の自己点検・評価についてはおおむね適正に評価されていると考える。より一層の説明責任を果たすため、各事業の評価指標について再度検討を行う必要があると考えられる。

また、点検・評価に関する有識者の方々には、卓越した見識と豊かな経験により、幅広い見地から貴重なご意見をいただいたことに深く感謝申し上げます。いただいたご意見を積極的に取り入れ、より質の高い事業を効率的に実施出来るよう努力してまいりたい。

最後に、財政が逼迫している状況の中、効率的に成果があげられるよう積極的に事業の統合を図るとともに、市民と協働による行政運営のさらなる推進やボランティアの多様な活用を図り、一層充実した事業の展開を期待する。

平成25年9月1日

葛 城 市 教 育 委 員 会
委 員 長 川 村 泰 男